

## 「猪苗代湖誕生の謎に迫る：湖底堆積物ボーリングによる成果の講演会と学習会」報告

標記の講演会と学習会が、2013年3月9日（土）に猪苗代町体験交流館「学びいな」で開催されました。13時から14時15分まで行われた講演会「湖底堆積物から読み解く猪苗代湖の誕生と歴史」では、約70名の参加がありました。猪苗代町23名、会津若松市11名、郡山市9名、福島市13名など、猪苗代湖周辺の市町からが主ですが、なんと東京から来てくださった方もいました。

講演の内容は、1) 湖の真ん中でどうやって湖底を掘るのか（湖上での掘削作業、コア試料の岩相記載と分析用試料の採取）、2) バーコードの謎（軟X線像撮影、元素の濃度分布）、3) 火山灰層と年代、4) 猪苗代湖はいつ、どうしてできたのかです。講演後の質疑では、地質の専門的な内容から素朴な疑問まで、活発な質問と貴重なご意見をいただきました。その後の学習会にも引き続き多くの方が参加してくださいました。学習会の内容は、「28m歩いて学ぼう猪苗代湖5万年の歴史」、「ボーリングコア対比パズル」、「珪藻化石の顕微鏡観察」、「実体顕微鏡観察による火山灰層の対比クイズ」の4つです。これらのうち、最後の3つはお土産付の学習会です。お土産は、バーコード様の猪苗代湖湖底堆積物の一部を真空パックしたものです。学習会では、パズルや顕微鏡観察に夢中になる方が多く、たいへん熱心に質問されていました。印象に残ったのは、参加の皆さんそれぞれが猪苗代湖にたいへん熱い思いを抱いておられることと、たいへん面白い・研究成果の報告書はいつ出るのか、という期待の声をいただいたことでした。

最後になりましたが、地学団体研究会福島支部の方々と福島大学の長橋研究室と柴崎研究室の学生・大学院生の皆さんには、学習会の準備や講師・説明などご協力いただきました。どうもありがとうございました。



講演会「湖底堆積物から読み解く猪苗代湖の誕生と歴史」



学習会「28m歩いて学ぼう猪苗代湖5万年の歴史」

：ほぼ原寸のボーリングコア写真



学習会「ボーリングコア対比パズル」：2本のボーリングコアを対比するクイズ。初級・中級・上級編があり、上級編は地質の専門家でも10分はかかります。



学習会「珪藻化石の顕微鏡観察」：猪苗代湖の実際のコアからプレパラートを作成し、顕微鏡で観察しています。



学習会「実体顕微鏡観察による火山灰層の対比クイズ」：猪苗代湖ボーリングに挟まる沼沢湖火山灰層と始良-Tn火山灰層、それらと給源の火山灰層とを対比するクイズです。



お土産の地層真空パック：たいへん好評でした。